

## 令和7年度 第3回

# まちづくりミーティング

内川、犀川、湯涌、東浅川、医王山 校下（地区）

日時 令和7年8月20日（水） 18時30分から

場所 末浄水場 1階 見学室

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。  
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 地域課題について
- 6 質疑応答、意見交換
- 7 市長まとめ
- 8 閉会

金沢市市民協働推進課

TEL 220-2026 FAX 260-1178

## 提出課題一覧

番号	地域課題	頁
1	コミュニティバスの通学バスとしての運行について (内川校下町会連合会)	P. 2 P. 3
2	住みよい街へ ～不法投棄 違法ごみを無くそう～ (犀川地区町会連合会)	P. 4 P. 5
3	金沢湯涌みどりの里の有効活用について (湯涌校下町会連合会)	P. 6 P. 7
4	空き家、耕作放棄地対策について (東浅川地区町会連合会)	P. 8 P. 11
5	中山間地域における担い手の確保について (医王山地区町会連合会)	P. 12 P. 13

## 地域課題 1

町会連合会名	内 川 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	コミュニティバスの通学バスとしての運行について
現状と課題	<p>当校下のコミュニティバスは、市の地域運営交通運行費補助制度を活用し、地区の高齢者の通院や買い物の足として、また、特認校である内川小中学校へ通学する児童生徒の通学バスとして利用させて頂いています。</p> <p>このコミュニティバスは、当地区から平和町までと、杜の里の商業施設までが補助対象であり、伏見台方面や犀川、太陽が丘から通学する生徒の送迎について、その延伸部分は補助対象となっておらず、自主運行として地域でその費用を賄っています。</p> <p>また、以前は同じ方面の小中学生の終業時間の差が1時限程度である場合は、小さい学年の児童が学校で待機することが可能でしたが、現在は見守る人員の確保が難しく、個別に自主運行で送迎しています。</p> <p>地域で人員を確保し公民館等を待機場所にできないか、場所と資金について可能性を検討しています。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>内川校下にとって、学校の存続は地域の存続に直結し、コミュニティバスはそのための必要不可欠なものと考えております。</p> <p>加えて、内川小中学校に通学する子供たちの中には、居住する校区内の学校に通学できない子供も多く、自然の中の小規模校に元気に通学してくれています。</p> <p>引き続き、転入等により児童生徒が増えた場合の増車に対する支援をよろしくお願いします。</p>

## 市の方針等説明書（地域課題 1）

地域課題	コミュニティバスの通学バスとしての運行について
協議事項	<p>内川校下にとって、学校の存続は地域の存続に直結し、コミュニティバスはそのための必要不可欠なものとなっています。このため、転入等により児童生徒が増えた場合のコミュニティバスの増車に対して支援をお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>本市では、公共交通の不便な地域において通院や買物など日常生活に必要な移動手段を確保するため、地域運営交通が各地域によって導入されています。現在、内川地区をはじめ市内4地区で導入されており、今年の4月からは大野地区でも試験運行が始まっています。</p> <p>市としては、地元負担を軽減するために、運行経費の上限額撤廃や協賛金収入の地元負担への充当、など支援制度の拡充に努めてまいりました。</p> <p>内川地区では平成24年度から導入されており、内川小中学校の児童生徒にも利用されています。利用者の人数等は、年度途中でも増減するため、昨年度は、車両1台では賄いきれない利用者に対応するための増車を補助対象に追加するなど、市としても制度の柔軟な運用に努めているところです。</p> <p>引き続き、内川地区における地域運営交通を取り巻く環境の変化に対応するとともに、持続的な運行が可能となるよう、個別具体の事案に応じて相談させていただきながら、どのような支援が可能なのか検討していきます。</p>
担当課	<p>都市政策局 交通政策課          電話 220-2038</p>

## 地域課題 2

町会連合会名	犀川地区町会連合会
地域課題	<p>住みよい街へ</p> <p>～不法投棄 違法ごみを無くそう～</p>
現状と課題	<p>犀川地区は、約1,400戸あるが、多くは末町と辰巳町に居住している。その他は、山間部にあり、世帯数が一桁の集落が10か所程度ある。末町は、学生が多く、賑わいもあるが、ごみ出しのマナーが特によくない。</p> <p>埋め立てごみや資源ごみの回収日には、毎回当番制で見張りもしているが、油断していると収集してもらえないものを出していくケースが後を絶たない。</p> <p>季節によっては、布団や毛布、混合ごみが、数多くごみステーションに出されることもあり、町会役員がまとめて埋立場等に直接搬出している。</p> <p>また、山間部では、消火器や充電式ドリルのバッテリーなど機材の不法投棄もある。</p> <p>防犯カメラの設置も一部試みたが、管理と費用負担の面で難しい。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>不法投棄係もいるが、常時の監視は難しい。</p> <p>マナーの悪質なステーションには、ダミーカメラの設置により、多少の抑止力にはなっているようである。</p> <p>本来は個人個人がマナーを守ることであり、地域から学校にも依頼しているが、市においても、大学（学生）に向け直接の啓発をはじめ、年度替わり等のシーズンにおける見張り、巡回を強化するなどしていただけないか。</p> <p>その他、地域でできる効果的な対策等があれば指導していただきたい。</p>

## 市の方針等説明書（地域課題 2）

地域課題	<p>住みよい街へ ～不法投棄 違法ごみを無くそう～</p>
協議事項	<p>地域からも学校に依頼しているが、市でも大学（学生）に向けた啓発や年度替わり等における見張り、巡回を強化するなど対応できないか。その他、地域でできる効果的な対策等があれば助言してほしい。</p>
市の方針等	<p>学生に対するごみ出しマナーの啓発については、新入学の時期に、市内にある大学等と連携して、ごみ出しルールについての学生説明会の開催やパンフレットの配布を行っており、犀川地区にある大学に対しても、同様に対応しています。</p> <p>また、引越しシーズン前には、引越し時のごみ出しルールについても、チラシを配布するなど、学校を通じて周知を図っています。</p> <p>さらに、新たな取り組みとして、学生と協力し、若者ならではの着眼点から、ごみ出しマナー向上を啓発する動画を制作し、その動画をSNSで発信する等の取り組みも行っており、引き続き、ごみ出しルールの周知徹底が図られるよう、啓発活動や巡回指導の強化に努めていきます。</p> <p>なお、違反ごみを出させないようにするためには、これらの継続的な啓発活動はもちろんのこと、町会等によるごみステーションの適正な維持管理も大切であると考えています。市としても、地域の実情をお聞きしながら、違反ごみの多いごみステーションでは、啓発看板の設置や監視カメラの貸出、職員によるごみステーションでの立ち番指導等を実施しているので、お困りの際は、西部管理センターへご相談ください。</p>
担当課	<p>環境局    ごみ減量推進課                      電話    220－2302</p>

### 地域課題 3

町会連合会名	湯 涌 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	金沢湯涌みどりの里の有効活用について
現状と課題	<p>湯涌地区にある「金沢湯涌みどりの里」は、市民が自然に親しみながら農林業への理解を深めることを目的に、農林業の振興および周辺地域の活性化に資する施設として運営されているが、現状は十分に活用されているとは言い難い状況である。</p> <p>近くには金沢湯涌江戸村や湯涌温泉街があり、立地にも恵まれていることから、市民はもちろんのこと、観光客などにも利用してもらえる施設として有効活用できないか。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事 項	<p>平成 20 年の浅野川水害では、仮設住宅の設置場所として活用された実績を踏まえ、近年頻発する災害への備えとして、防災機能を備えた施設整備を検討いただきたい。</p> <p>加えて、平常時には自然環境や地域特性を生かし、地域住民の交流拠点となるコミュニティ広場や、RVパーク、キャンプ場、バーベキュー場などのアウトドア施設として活用することで、地域内外からの来訪者増加や地域活性化が期待できるのではないかと。</p> <p>施設の価値向上にもつながると考えられるため前向きに検討いただきたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 3）

地域課題	金沢湯涌みどりの里の有効活用について
協議事項	<p>平成20年の浅野川水害では、仮設住宅の設置場所として活用された実績を踏まえ、近年頻発する災害への備えとして、防災機能を備えた施設整備を検討いただきたい。</p> <p>平常時には自然環境や地域特性を生かし、地域住民の交流拠点となるコミュニティ広場や、RVパーク、キャンプ場、バーベキュー場などのアウトドア施設として活用することで、地域内外からの来訪者増加や地域活性化が期待できるのではないかと。</p> <p>平成20年の浅野川水害では、仮設住宅の設置場所として活用された実績を踏まえ、近年頻発する災害への備えとして、防災機能を備えた施設整備を検討いただきたい。</p>
市の方針等	<p>本市では、平成14年度に「金沢湯涌みどりの里」を開設し、以来、市民農園の運営や、地元の農家で構成する「ファームみどりの里組合」による「そば打ち体験」や「農産物加工品の手作り体験教室」、「朝市」の開催など、都市と農村の交流を推進するため、様々なイベントを実施しています。</p> <p>これらのイベントには、毎年、多くの市民の皆様にご参加いただいております、地域の活性化に寄与しているものと考えています。</p> <p>近年は、新型コロナウイルス等の影響を受けて、イベント等への参加者は減少傾向にありますが、昨年度から、新たな取り組みとして実施している芝生広場でのキャンプイベントについては、募集定員よりも多くの方から応募があるなど、好評をいただいております。</p> <p>今後も、多くの方に参加いただけるよう、ご提案のことも含め、施設の活用方策について検討してまいります。</p> <p>なお、湯涌みどりの里につきましては、大規模災害時の応急仮設住宅の建設可能用地の一つとして考えており、ご提案の防災機能を備えた施設整備までは考えておりません。</p>
担当課	<p>農林水産局 農業水産振興課 電話 220-2213</p> <p>危機管理課 電話 220-2366</p>



## 地域課題 4

町会連合会名	東 浅 川 地 区 町 会 連 合 会
地域課題	空き家、耕作放棄地対策について
現状と課題	<p>私たちの住む東浅川地区は、これまで市街地調整区域として、本来の市街化抑制の役割を担ってまいりました。しかしながら近年、空き家や耕作放棄地が目立つようになってきています。</p> <p>空き家については、少子化が進んだことや、核家族化に伴う中間世代の市街地での独立、また、その下の世代では、都市部への進学、就職により更なる地元離れが進んでいます。</p> <p>耕作放棄地についてですが、当該地区は、ほぼ中山間地に属しており、農業は 100%兼業農家で、前述の少子高齢化による担い手不足と近年の機械化農業による経費の高額化に伴う離農者が急増しており、この先 10 年後には、現放棄地が数倍に広がることは避けられないと想像されます。</p> <p>この状況に並行して、イノシシ・クマなどの害獣被害も深刻化し、地域の日常生活にも影響を来すようになってきています。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事 項	<p>○空き家対策について</p> <p>金沢市では、各種の空き家対策事業を行っているようですが、事業の利用状況をお聞かせ願いたいのと、当該地区に即した対策があればお聞かせ願いたい。</p> <p>○耕作放棄地対策について</p> <p>現在の状況は、今の社会情勢からしてなかなか避けられるものではないと考えられる。一案として、この耕作放棄地をある箇所に一団の土地として集積し、多種多様な業種の活用地とすることはできないか。</p> <p>(近隣農作物の販売所、湯涌福光線開通を想定とした「道の駅」等)</p>

市の方針等説明書（地域課題 4-1）

地域課題	空き家、耕作放棄地対策について
協議事項	<p>（空き家対策について）</p> <p>金沢市では、各種の空き家対策事業を行っているようですが、事業の利用状況をお聞かせ願いたいのと、当該地区に即した対策があればお聞かせ願いたい。</p>
市の方針等	<p>本市では、平成27年度に空き家等の総合相談窓口を開設し、空き家の適正管理と活用の両面から対策に取り組んできました。また、令和7年3月には「金沢市空き家等管理・活用計画」を改定し、「①活用の拡大」、「②管理の確保」、「③特定空き家等の除却」の3つの柱で総合的に対策を強化しています。</p> <p>このうち、「①活用の拡大」については、宅地建物取引業協会など11の専門団体と連携し、空き家の活用や流通に関する様々な相談に対する解決策を提案することで、これまでに101件の相談のうち65件が売却されるなどの解決に至っています。また、先般、空き家等管理活用支援法人の指定を行い、8月1日より3つの法人が業務を開始していることから、さらなる活用の拡大をめざしています。</p> <p>東浅川地区については、その大半が市街化調整区域ですが、一定のルールのもとで空き家を住宅はもとより、地域資源である農産物を活用した飲食店や、日用品を販売する店舗、地区の集会所などに活用できます。特に、地域資源である農産物を活用した飲食店については、事業者や生産者、利用者など多くの方々が関わることで、地域資源の魅力や価値の再発見につながり、空き家の利活用とともに、地域コミュニティの活性化も図られる可能性があると考えています。</p> <p>空き家を集会所に活用する場合については、町会、所有者及び市の3者が協定を締結すると、改修費用の3分の2（限度額：100万円）を町会に、補助する制度があります。また、空き家を解体し、ポケットパークなどに整備する場合もこの制度を利用することができ、解体費用についてもその2分の1（限度額：50万円）を補助します。希望される場合はご相談ください。</p>

【参考】「地域連携空き家等活用事業」について

○事業の仕組み



担当課

都市整備局 建築指導課

電話 220-2136

市の方針等説明書（地域課題 4－2）

地域課題	空き家、耕作放棄地対策について
協議事項	<p>（耕作放棄地対策について）</p> <p>現在の状況は、今の社会情勢からしてなかなか避けられるものではないと考えられる。一案として、この耕作放棄地をある箇所に一団の土地として集積し、多種多様な業種の活用地とすることはできないか。</p> <p>（近隣農作物の販売所、湯涌福光線開通を想定とした「道の駅」等）</p>
市の方針等	<p>全国的にも、毎年、耕作地が減少しているところではありますが、本市では、中山間地域における農地を維持するため、国の多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払制度を活用するとともに、市独自に新規就農者や異業種の農業参入者を対象とした、耕作放棄地を農地として活用するための基盤整備等への支援を行っています。</p> <p>ご提案の耕作放棄地の集積については、集落内での調整が必要となるなど課題も多いと考えていますが、農作物の販売所の設置については、本市において、中山間地域の朝市・直売所の新規開設に向けた助成制度を設けていることから、この制度を活用していただきたい。</p> <p>なお、湯涌福光線開通を想定とした「道の駅」につきましては、開通後に交流人口が増加することも見込まれることから、その必要性について勉強させていただいているところです。</p>
担当課	農林水産局 農業水産振興課 電話 220－2214

## 地域課題 5

町会連合会名	医王山地区町会連合会
地域課題	中山間地域における担い手の確保について
現状と課題	<p>中山間地域に位置する当地区は高齢化、人口減少などから農業従事者の減少が続いています。</p> <p>耕作条件が厳しいことから（傾斜地や山影など）条件の悪い農地は耕作放棄地がどんどん増えている現状です。また、集落協定は用水系統ごとに6地区に別れており、共同作業や営農組合の法人化など集団化しづらい現状があります。</p> <p>地域活動（市道や農道・林道の除草、農業施設の管理など）の継続は暗澹たるもので、将来像が描ける状況にありません。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>農地について、土地改良事業や災害復旧事業など行政から支援を頂いているところだが、まだまだ不十分なため耕作放棄へも繋がることから、もう一步踏み込んだ新たな支援事業の創設をお願いしたい。</p> <p>また、農業の関係人口を増やすため、先進事例や関連する農村RM Oなどの補助事業の紹介など、地域と連携・相談しながら担い手確保につながる取組を進めてほしい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 5）

地域課題	中山間地域における担い手の確保について		
協議事項	<p>農地について、土地改良事業や災害復旧事業など行政から支援を頂いているところだが、まだまだ不十分なため耕作放棄へも繋がることから、もう一步踏み込んだ新たな支援事業の創設をお願いしたい。</p> <p>農業の関係人口を増やすため、先進事例や関連する農村RMOなどの補助事業の紹介など、地域と連携・相談しながら担い手確保につながる取組を進めてほしい。</p>		
市の方針等	<p>本市では、医王山地区をはじめとする中山間地域における、農地や水路・農道などの農業用施設の整備に係る地元負担率について、地域性を考慮し、市内の平坦地よりも軽減しているところであり、今のところ、地元負担率の更なる引き下げ等については考えていません。</p> <p>本市としては、これまでも中山間地における農地を維持するため、国の多面的機能支払交付金や中山間地域直接支払制度を活用するとともに、市独自に、新規就農者や異業種の農業参入を対象とした、耕作放棄地を農地として活用するための基盤整備等への支援を行っているところであり、まずは、これらの制度を活用していただきたい。</p> <p>また、本市では、令和元年度に、賑わいと活力ある美しい中山間地の再興に向け、「中山間地域活性化計画」を策定し、今年度は、この計画に基づき「いおう里山マルシェ」の開催費に支援しているところでもあります。</p> <p>引き続き、これらのイベント開催等に支援するとともに、ご要望の「農村RMO支援事業」等についても、地域の状況を踏まえて周知してまいります。</p>		
担当課	農林水産局 農業基盤整備課 農業水産振興課	電話 220-2215 電話 220-2214	